
短編 1

三木拓矢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編1

【Nコード】

N6560N

【作者名】

三木拓矢

【あらすじ】

あなたはあなたをどう考えていますか？

皆さんは人間失格と聞くと一体何を思いつくだろうか？

一般的に言えばやはり太宰治の『人間失格』であろう。

それ以外でも多分皆さんが己にそれぞれの考えがあると思う。さて、ここでは私の考える人間失格について独り言を呟こう。

人間を失格するというのは人の道を外れた者、いわゆる外道を指した言葉であろう。

人として生きる意味も価値もない物。

しかしそれも人により三者三様の物の見方がある。

私は自分の様な人間を失格なのだと思う。

人を嫌い、人を近づけ。

意味を見つけず、理由を求め。

愛を知らず、恋を探し。

必然を捨て、偶然を拾い。

見えているのに、周りを見ず。

考えに、答えはなく。

ただ生きているだけ。

ただ生きているだけ。

生きているのに死んでいて、死んでいるのに生きている。

そんなどうしようもない矛盾を抱え。

心には初めから欠陥を持ち。

そのまま、毎日を日々を過ごしゆくだけ。

私は何も感じない。 私は何も考えない。 私は何も覚えない。

私は何も知らない。 私は何も思わない。

明日私が死ぬのなら私の命は明日まででいい。

別に死ぬことは恐怖ではないし、生きることには幸せではないから。
どうだっていい、なんだっていい。
何もしたくないし、何もされたくない。

私は人間失格であり人間失格の失格です。
あなたは私をどう思いますか？

(後書き)

ふと書きたくて書きました。

他には理由はありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6560n/>

短編 1

2010年10月9日10時41分発行